

令和5年度 学校評価表

島根県立吉賀高等学校

めざす生徒像～地域・社会に貢献できる人材（財）の育成～	
1	地域の様々な人と交流し、力を合わせることができる
2	地域の環境資源を活かした学びを基に自分と向き合う
3	地域の現状を知り、ふるさとの未来に向けて行動できる
4	地域の中で学ぶことにより、広い視野を身につける

教育目標	
1	自他を尊重し、他者と協働できる人間の育成
2	当事者意識を持ち、粘り強く挑戦する人間の育成
3	答のない課題を解決するために行動する人間の育成
4	広い視野に立ち、未来を想像・創造できる人間の育成

評価項目	重点目標	具体的施策	主資料	自己評価 (昨年度)	取組状況と課題	学校関係者評価		改善策
						評価	意見	
1 学力の向上	基礎基本の定着と学習意欲の向上	個々の生徒に対する、効果的な教科指導 ・学習支援と学習評価 ・教師の授業力の向上	教務評価 生徒・保護者評価	3 (3)	・指導者用PCや生徒用個人端末を利用した授業が定着してきた。 ・授業アンケートをgoogle formでも回答できるようになるなど、授業力・指導力の向上に対する教職員評価が高くなった。 ・学習時間調査の結果からも明らかのように、学習習慣が定着していない。年度進行で徐々に勉強しなくなっている様子が窺える。	3	・自学の時間確保を促していくことが課題。 ・公設塾などを有効に活用して勉強に取り組んでいる生徒もいる。進路目標の実現に向け時間を確保していくべき。	・スタディサブリの効果的な活用法を考えていく。本来は個別学習のためのツールであるが、さらなる活用を促すためには、生徒の取り組みを評価化するなど、ある程度の強制力を伴う仕掛けをする必要がある。教科主任会を中心に考えていきたい。 ・来年度は観点別評価が全学年で実施されることになるため、主体的に学習に取り組む態度の評価を改善するとともに、評価全体を見直すいいタイミングであると捉えている。生徒の実態に即した、または学習習慣の改善につながるような適切な評価に近づける努力をしていきたい。
		本校の新しい教育課程の編成 ・新学習指導要領の研究 ・サクラマス・プロジェクトに基づく授業改善と教育課程づくり	教務・学年評価	3 (3)		3		
2 基本的な生活習慣の確立	自主的・自律的な生活態度の育成 社会人基礎力の育成 (学校はよい習慣を身につけるところ)	生徒との信頼関係構築と協働 ・挨拶、声かけの励行	生指・生徒・保護者 地域評価	3 (3)	・挨拶、声掛けが日常的にできており、信頼関係が構築できた。学校生活の様々な場面で生徒・教職員ともに協働することができた。 ・一昨年に身だしなみ規定・携帯端末機器規定などの校則を見直し、合理的な配慮を行うことができた一方、ルールを守れない生徒も見受けられた。配慮が必要な生徒への支援と全体への指導に苦慮している。 ・安心・安全アンケートを3回実施した。アンケートだけでなく、定期的ないじめ防止委員会を開催し組織的に対応することができた。また、いじめ防止基本方針を見直し、より細かく対応できるようにした。 ・養護教諭、コーディネーターを中心に必要な生徒への個別支援を行うことができた。また、スクールソーシャルワーカーとの連携により、効果的な支援を行うことができた。 ・町外、県外生徒の寮生活において生活指導、支援を吉賀町役場と連携して行うことができた。	3	・いろいろなことが起こっているが、生徒一人一人によく対応している。 ・教育相談については、時間をかけて対応している。引き続き、あきらめずに粘り強く行ってほしい。 ・学校だけでなく、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの外部機関と連携していくことが大切。	・挨拶運動や校内の巡回指導を行い、挨拶や声掛けを引き続き積極的に行う。 ・多様な生徒の状況を配慮しつつ、校則について粘り強く指導を行っていく。 ・教育委員会をはじめスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの外部機関と連携を深めるとともに、生徒支援委員会やいじめ防止委員会を通じた組織としての対応することで教育相談体制を充実させる。 ・いじめ防止基本方針を再度チェックし、安全安心アンケートやきめ細かな面談などの日常的な生徒観察を通して、生徒が安全安心に生活できる環境を整えていく。 ・警察など関係機関と連携して、高校生をとりまく法的環境の変化を周知し、規範意識のさらなる醸成を図るとともに、自他を尊重する姿勢や良好な人間関係づくり、自律的な生活態度の育成を生徒に促すための効果的な指導法を検討していく。 ・寮生の意見も踏まえつつ、吉賀高校支援室と連携して寮の指導体制やルールを検討していく。
		自律的な生活態度の育成 安全・安心な学校環境の整備	生指・生徒・保護者 地域評価	2 (2)		2		
		教育相談活動の充実 ・必要な生徒への個別支援	生指・保健評価 生徒・保護者評価	4 (4)		4		
3 部活動・学校行事の奨励	部活動の活性化 生徒会活動の活性化	積極的参加の奨励 ・地域活動への参加	生指・学年評価 地域・保護者・生徒 評価	3 (3)	・地域クラブにより様々な活動を行うことができた。引率等の指導者体制に課題が残る。 ・多くの生徒が部活動に加入し活動できた。部員数の少ない部活動もあり、活動に支障をきたすことがあった。 ・生徒会役員を中心に学校行事や生徒会活動が行われ、彼らの独創性や自主性が発揮された活動ができた。生徒会生徒とコミュニケーションを図り、さらに自主、自律的な活動を促したい。	4	・テニスなど上位大会に進出している生徒もいる。引き続き学校全体で頑張ってもらいたい。 ・地域活動に取り組む生徒の支援をお願いしたい。地域のお祭りなどの機会に積極的に取り組んでもらうとありがたい。地域の側からも働きかけたい。	
		学校行事の活性化 ・集団としての教育力の形成	生指・学年評価 生徒評価	4 (4)		4		
4 進路指導の徹底	キャリア教育（サクラマス・プロジェクト）の充実と進路目標設定の支援	キャリア教育の充実	進路・教務	4 (4)	・アントレを中心に、生徒個々の経験を増やし、資質・能力を伸ばし、進路実現につなげる、という意識は生徒・教員ともに浸透してきた。 ・休日補習については、今年度は年3回の予定のうち、悪天候のための中止や、希望者が少なく開講しない回もあった。 ・夏季補習については、県外生の帰省や希望者も少なく、人数の少ない講座もあった。 ・平日放課後補習については、教科ごとの講座形式の実施はせず、個別対応で教科の添削、面接・小論文対応などを行った。 ・進路ガイダンスの中には、時期や内容があまり生徒の実情に合っていないものもあった。 ・進路検討会で、よしか塾の状況も含め、情報共有できた。	4	・先日のアントレ成果発表会も見したが、全体のレベルも高くよくやっている。公民館をはじめとした地域の力を積極的に活用し、さらにいいものにしてほしい。 ・かなりきめ細かな個別添削なども行っているようで安心している。進路目標の実現につながるよう指導をお願いしたい。	
		適切な進路情報の提供	進路・学年評価 生徒評価	4 (4)		4		
		補習・放課後学習会等進路実現のための支援	進路・学年評価 保護者・地域評価	4 (3)		4		
		進路実現への支援	進路・学年評価 生徒・保護者 地域評価	4 (4)		4		
5 人権教育の推進	互いの人権を尊重する人間関係づくり・集団づくり	HRでの指導の充実 他者の尊重、教職員による人権意識高揚の働きかけ	人権教育評価 学年評価	3 (3)	・人権教育HRは学年部で指導案を作成し、生徒の現状に応じた授業が実施できた。 ・安全安心アンケートや生徒支援委員会などを通して教職員が連携して、生徒間での言動や行動把握に努めた。	3	・生徒が安全・安心に生活できるよう、互いを尊重できるような集団づくりに取り組んでもらいたい。	
		教職員研修の充実	人権教育評価	3 (3)		3		
6 中高一貫教育の推進	サクラマス・プロジェクトと連動した中高連携の実施	めざす生徒像の実現に向けた活動の推進 ・推進重点事項の設定と実施	中高一貫教育 アンケート	3 (3)	・中高一貫教育合同職員会議において講演会を実施し、サクラマスプロジェクトの内容や意義を再確認した。中高・地域のつながりを活かした学び、教科と探究を連続させるカリキュラムマネジメントに対し、中高教職員が共通して意識を高めることができた。 ・中高一貫教育推進重点項目に掲げる「思考力・表現力」の育成を重視した授業づくりへの共通理解を深めていくことが今後の課題となる。教科間で情報交換や授業交流を深めることが重要。	3	・引き続き、地域連携に力を入れてもらいたい。地域の行事等に高校生にさらに参加してもらって町に楽しいことがあることを知ってもらいたい。3月に行われる地域の住民と高校生の対話のイベントである「トーク・フォークダンス」などはとてもよい企画である。 ・サクラマス・プロジェクトと連携して、中学校への働きかけも強めていくとよい。	
7 魅力と活力ある学校づくり	サクラマス・プロジェクトと連動した活動の実施	町・外部機関と連携した活動の推進	生指・総務評価 生徒・保護者 地域評価	4 (4)	・PTA役員の方々を中心に、よしか祭にPTA屋台として参加していただいたこともあり生徒・保護者の学園祭の評価は上がっているが、地域の評価は下がっている。地域の評価をどうするかが課題である。 ・今年度は学校だより「めたせこいあ」やHP以外にも、インスタグラムやFacebookを利用して活動報告できた。教員の評価は上昇しているが、保護者や地域の評価の低下が課題。 ・さくら連絡網を利用して各種学校行事やPTA研修の案内ができた。	4	・次年度以降を含め今後の生徒確保は厳しい状況が予想される。卒業生還流を念頭に地域で若者の夢をかなえる応援が何かできるとよい。 ・学校の魅力をもっとSNS（若者に人気のTikTokなど）で発信したらよい。	
		学校の情報を地域・保護者に十分に伝える	総務評価 生徒・保護者 地域評価	4 (4)		4		
8 学校安全管理	危機管理意識の高揚と安全な生活環境の確保	防災避難訓練の計画的実施	総務評価	3 (3)	・防災避難訓練は、年間に行わなくてはならない「地震・火災・土砂災害」について実施していく。土砂災害については土木事務所、他は六日市分遣所の協力を得て今後も実施していきたい。	3	・寮の方でもヘルメット着用を呼び掛けている。	
		安全点検の計画的実施	生指評価 生徒・保護者 地域評価	3 (3)		3		

【評価】 4：十分達成できた 3：概ね達成できた 2：やや不十分であった 1：全く不十分で達成できなかった